

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和7年2月3日（月）
午前9時30分 開会

○坂井美穂委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。

それでは、これより協議題1「閉会中の調査事項」①文書照会の結果について、を行います。文書照会を実施していた3市からの回答は、資料1から資料3のとおりです。なお、文書照会中の福岡県大木町につきましては、回答が遅れていることから本日は掲載しておりませんので、ご承知おきください。それでは、回答につきまして、横浜市から説明をさせていただきます。

横浜市は、2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロの実現を他自治体に先駆け表明された、とのこと。家庭や事業所における行動変容が重要と捉え、廃食油の利活用を通じて行動変容に繋げる取組みを推進しています。廃食油を原料とした国産 SAF 製造施設が稼働する見込みであることを踏まえ、航空会社と連携協定を締結するとともに、家庭から排出される廃食油の回収の仕組みが確立されておらず、廃棄されていることに着目し、市民が廃食油のリサイクルに参加しやすい環境を整え、（廃食油の）回収拡大に貢献できる仕組みを確立した、とのこと。

次に、豊橋市です。豊橋市は、生ごみ・汚泥のエネルギー化事業の事業化に伴い、平成29年4月から生ごみの分別収集を開始した、とのこと。生ごみとして排出される量は、年間12,000t以上であり、一般家庭から排出される生ごみのうち、約60%以上を回収しています。この回収した生ごみは、バイオマス利活用施設である豊橋市バイオマス利活用センターに集約され、100%エネルギーとして利用化しているとのこと。

次に、大府市につきましては、生ごみ回収について、現在実証実験中であり、全市展開がされていないとのこと。全市展開の予定はないとのことからも中間報告に内容を記載することは、難しいと考えています。

最後に、福岡県大木町ですが、本日時点で回答が未着となっています。そのため、生ごみの循環型社会の協働体制の仕組みづくりについては、豊橋市の内容を中心に中間報告に盛り込み作成したいと考えていますが、この件につきまして、何かありましたらお願いします。

○澤田勝副委員長

大木町の取り扱いは、どのようにしますか。

○坂井美穂委員長

しばらく休憩します。

午前 9時34分 休憩

午前 9時35分 再開

○坂井美穂委員長

会議を再開します。大木町については、今後の回答提出時期が不明です。そのため、（大木町の）回答の取り扱いについては、正副委員長にご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

続きまして、②委員会報告案について、を行います。文書照会の回答を加筆しました中間報告の委員長素案を1月31日に皆さまにご連絡させていただきました。本日、委員の皆さまからご意見を頂戴し、5月臨時会に向け、内容を磨き上げていきたいと思っておりますので、

ご協力をお願いします。
しばらく休憩します。

午前 9時45分 休憩
午前10時 7分 再開

○坂井美穂委員長

会議を再開します。

休憩中に協議の上、ご指摘いただいた内容の共通点は、次の2点です。

- ・161行目以降の提言については、「ペットボトルの水平リサイクルに対する機運醸成を高めるために、協定を締結している株式会社 Mizkan と共に更なる普及・啓発に取り組んでいただきたい。」に変更する。
- ・165行目、「国産 SAF の原料としての」の記載を、「国産 SAF の原料などの」に変更する。

ご指摘いただきました箇所につきましては、修正の上、次回の委員会にてお示しいたします。この件で何かありましたら、お願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件は終了します。

続きまして、協議題2 その他、を行います。その他として、委員から何かございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。

それでは、次回の委員会の日程を決めたいと思います。

しばらく休憩します。

午前10時 8分 休憩
午前10時10分 再開

○坂井美穂委員長

会議を再開します。

それでは、次回の委員会を3月12日（水）新年度予算審査終了後から行いますのでよろしくをお願いします。

以上で、本日予定しておりました議事は、すべて終了いたしました。

他にないようですので、本日の委員会は、これにて閉会いたします。

午前10時11分 閉会